

平成 28 年度第7回 三重県伊勢志摩サミット推進本部会議 概要

- 1 開催日時:平成 29 年2月 17 日(金)9:00～9:10
- 2 開催場所:プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要:以下のとおり(●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問)

事項1 伊勢志摩サミット推進局からの報告

(1)伊勢志摩サミット記念館(仮称)の愛称募集について【資料1】

●岩本サミット総務課長(資料1により説明)

ぜひ奮ってご応募いただきたい。チラシデータは各所属あてメールで送付させて
いただいている。口コミや各イベントでの周知にぜひご協力をいただきたい。

(2)平成 29 年度ポストサミットの取組及び伊勢志摩サミット基金充当事業について 【資料2】

●岩本サミット総務課長(資料2により説明)

ポストサミットについて、今回見直した点として、具体的な取組である「①人と事業を呼びこむ」「②成果を発展させる」「③次世代に継承する」のほかに、「④戦略的・効果的な情報発信」を追加している。また、「①人と事業を呼びこむ」について、【新たな国内交流人口の拡大】【移住・定住の促進】【インフラ整備】を追加した。さらに、「②成果を発展させる」について、【保健】を追加し、【環境】を削除した。【女性等の活躍】については、「③次世代に継承する」で掲げていたものを「②成果を発展させる」に移行させ、項目も【女性の活躍】だったが、ダイバーシティを踏まえて、「等」を入れて【女性等の活躍】とした。ポストサミット事業はサミットのレガシーを直接的に生かす事業であるが、県としてはすべての事業において、レガシーを念頭に置いた取組を進めていただきたい。協賛・応援の活用等も含めて、レガシーを生かしていただくようお願いしたい。

サミット基金については、県民会議の寄附金が原資となっているので、その点ご留意いただき、事業に取り組んでいただきたい。

(3)伊勢志摩サミット・アーカイブ事業について【資料3】

●岩本サミット総務課長(資料3により説明)

サミットを契機として活躍した事例について、市町、団体、各部局等に照会させていただいた結果をもとに、実際に訪問して取材を行った団体及び今後訪問を予定している団体のリストである。

活躍事例については、現在、各部局に照会させていただいているところであるが、細かい事例でもいいので回答していただくよう、ご協力をお願いしたい。

(全体を通して)

●村上伊勢志摩サミット推進局長

伊勢志摩サミット推進局は3月末をもって廃止するが、三重県伊勢志摩サミット推進本部は、平成 29 年度も引き続き設置する。官民一体の伊勢志摩サミット三重県民会議については、県民会議事業がすべて終了した後、適切な時期に総会で決算審議をし、解散手続きを行う予定である。

●鈴木知事

アーカイブ事業について、ジュニア・サミットを含めてサミットでは次世代の人たちが活躍してくれたので、学校関係者に事業の周知をきちんとすること。また、登録事例が増えるよう、努めること。

(以上)